

**臨床研究に関する情報公開（一般向け）**  
**「初発節外性 NK/T 細胞リンパ腫における治療実態把握と予後因子解析を目的とした**  
**国際共同研究プロジェクト」実施のご報告**  
(2024 年 9 月 18 日作成 ver. 1.0)

—2014 年 1 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日の間までに当院において節外性 NK/T 細胞リンパ腫、鼻型と診断された方へ—

## 1. 研究の概要

### 1) 研究の意義

節外性 NK/T 細胞リンパ腫・鼻型（以下この文書の中では NK/T 細胞リンパ腫とよびます）は、日本など東アジアで発生頻度の高いリンパ腫です。2003 年頃から、新しい治療の開発が活発に行われてきており、過去に 2000-2013 年に診断された患者さんを対象として、治療の内容、治療別の効果と副作用、治療前にその効果を予測する方法を検討する調査研究が行われました（NKEA 研究）。2014 年以降、日本よりも東アジアでの患者さんが増加しています。そのため副作用が少ない新世代治療の開発が国外で進んでおり、日本でも試みられつつあります。先行研究として、2014-2021 年に診断された患者さんを対象として最新の治療実態とその治療効果を調べ、治療法の改善点や、よりよい治療を開発するための手がかりを得ることを目標とし、国内多機関共同研究を実施しました（NKEA-Next 研究）。今回の研究では、NKEA-Next 研究と同じ期間に NK/T 細胞リンパ腫と診断された国外の患者さんの調査を行い、国内で実施されている治療のみならず、海外で実施されている治療も含めて広く検討し、より良い治療法を開発を目標に研究を行います。国内データに関しては、以前に NKEA-Next 研究で収集したデータを二次利用させていただきます。

## 2. 研究の方法

1) 研究対象者：2014 年 1 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日の間までに当院で NK/T 細胞リンパ腫と診断された全ての患者さん。（NKEA-Next 研究に参加された方）

2) 当院における参加人数：13 人

3) 研究期間：研究許可後から 2029 年 6 月 30 日

### 4) 研究方法

NK/T 細胞リンパ腫に関する検査結果、治療の内容、治療の効果と副作用について、NKEA-Next のデータを用いるほか、場合によっては診療録（カルテ）を調べることがあります。この調査のために新たに検査を行うことはありません。この研究の担当者は、全国の参加施設から集められた資料をもとに解析し、NK/T 細胞リンパ腫患者さんの病状、治療内容などを明らかにします。また、前回の研究（NKEA 研究）の結果と比較検討をします。

### 5) 使用する試料の項目

この調査のために新たに得る血液、腫瘍組織などの試料はありません。

### 6) 使用する情報の項目

この研究に使用する情報は次のとおりです。

- ・ 診断情報（診断名、診断日、診断法、腫瘍細胞のマーカー）
- ・ 患者さんの年齢、性、治療前の患者さんの状態、検査結果、画像検査情報、初回治療の内容（放射線治療を行った場合）放射線治療の内容
- ・ 初回治療の総合効果、移植に関する情報、再発/増悪に関する情報、生存情報など

### 7) 情報の保存：

研究対象者の個人が容易に特定されない状態とし、データを収集します。研究対象者識別コードリス

ト等の情報はネットのつながっていないパソコンで各施設の責任者が研究機関内で保管します。収集した情報は電子情報として保存します。代表研究機関（島根大学）においては、研究結果の最終報告を行ってから10年間、その他の研究機関においては、研究の終了を報告してから少なくとも5年間保管し、その後保管の必要性がなくなった時点で研究対象者の識別が不可能な状態で廃棄します。

8) 情報の保護：

研究に関わる関係者は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。また、関係者は、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。情報の管理の責任者は、研究代表者または研究責任者です。

9) 研究資金源及び利益相反に関する事項：

本研究では日本学術振興会科学研究費から支給される研究助成金を使用します。本研究の結果および結果の解釈に影響を及ぼすような利益相反はありません。また、本研究を行うことによって研究に参加いただいた方々の権利・利益を損ねることはありません。

10) 研究計画書および個人情報の開示：

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についてお分かりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。この研究はあなたのデータを個人情報とわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。あなたが研究を拒否された場合、これまで取得したデータは全て削除します。ただし、解析中もしくは論文執筆中のデータ、また、既に学会や論文で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。拒否される場合は、お早めにご連絡をお願い致します。

11) 代表研究機関

代表研究機関名・研究代表者：島根大学医学部 血液・腫瘍内科学 教授 鈴木 律朗  
〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1  
電話：0853-20-2308

■ 研究機関（international ENKL project）

鈴木律朗（島根大学医学部 血液・腫瘍内科学：研究代表者）  
藤本亜弓（島根大学医学部 血液・腫瘍内科学：研究事務局）  
山口素子（三重大学大学院 先進血液腫瘍学講座）  
宮崎香奈（三重大学大学院 血液・腫瘍内科学）  
田口千蔵（がん研究会有明病院 放射線治療部）  
浅野直子（長野県立信州医療センター 遺伝子検査科）

共同研究機関（国内）

施設名	施設責任者名
北海道大学	中川 雅夫
愛育病院	泉山 康
東北大学	福原 規子
秋田大学	北舘 明宏
獨協医科大学	江島 泰生

群馬大学医学部附属病院  
渋川医療センター  
埼玉県立がんセンター  
千葉県がんセンター  
国立がん研究センター中央病院  
東京慈恵会医科大学附属病院  
がん研究会有明病院  
日本大学医学部  
東海大学医学部附属病院  
神奈川県立がんセンター  
聖マリアンナ医科大学  
新潟大学  
信州大学血液内科  
金沢大学附属病院  
金沢医科大学  
福井大学医学部附属病院  
国立病院機構名古屋医療センター  
名古屋大学医学部附属病院  
藤田医科大学医学部  
愛知医科大学病院  
JA 愛知厚生連豊田厚生病院  
JA 愛知厚生連海南病院  
京都府立医科大学  
京都第二赤十字病院  
神戸大学医学部附属病院  
兵庫県立がんセンター  
神戸市立医療センター中央市民病院  
岡山大学病院  
川崎医科大学附属病院  
倉敷中央病院  
岡山赤十字病院  
四国がんセンター  
佐世保市総合医療センター  
九州がんセンター  
鹿児島大学病院

宮澤 悠里  
斉藤 明生  
久保田 靖子  
武内 正博  
棟方 理  
瓜生 英樹  
丸山 大  
石橋 直也  
大間知 謙  
橋本 千寿子  
富田 直人  
瀧澤 淳  
中澤 英之  
吉田 晶代  
正木 康史  
根来 英樹  
鈴木 康裕  
島田 和之  
後藤 尚絵  
村上 五月  
平賀 潤二  
矢野 寛樹  
藤野 貴大  
魚嶋 伸彦  
薬師神 公和  
村山 徹  
平本 展大  
遠西 大輔  
近藤 英生  
前田 猛  
藤井 総一郎  
吉田 功  
牧山 純也  
崔 日承  
吉満 誠

## 共同研究機関（国外）

### アメリカ

・ Dr. Ranjana Hira Advani  
Division of Oncology, Department of Medicine, Stanford Cancer Institute,  
Stanford, California  
・ Dr. Steven Horwitz (horwitzs@mskcc.org)  
Lymphoma Service, Department of Medicine, Memorial Sloan Kettering Cancer Center, New York

### アルゼンチン

・ Dr. Astrid Pavlovsky  
Haematology, Fundaleu, Buenos Aires  
Haematology, Centro de Hematologia Pavlovsky, Buenos Aires

### イタリア

・ Dr. Pier Luigi Zinzani

Lymphoma and Chronic Lymphoproliferative Syndromes Unit, Institute of Hematology "L. e A. Seràgnoli", University of Bologna, Bologna

### インドネシア

• Dr. Noorwati Sutandyo  
Department of Hematology and Medical Oncology, Dharmais National Cancer Center Hospital, Jakarta

### オーストラリア

• Dr. Pietro Di Ciccio  
Department of Hematology, The Canberra Hospital, Garran, ACT  
College of Health and Medicine, Australian National University, Canberra, ACT  
• Dr. Eliza Hawkes  
Austin Health, Melbourne, VIC, Olivia Newton-John Cancer Research Institute, and School of Public Health & Preventative Medicine, Monash University, Melbourne, VIC

### カナダ

• Dr. Kerry Savage  
Centre for Lymphoid Cancer, Division of Medical Oncology, BC Cancer and the University of British Columbia, Vancouver, British Columbia

### シンガポール

• Dr. Jason Yongsheng Chan  
Division of Medical Oncology, National Cancer Centre Singapore, Singapore  
• Dr. Michelle Limei Poon  
Department of Hematology, National University Cancer Institute, Singapore  
• Dr. Sanjay Widanalage  
Department of Hematology, National University Cancer Institute, Singapore

### タイ

• Dr. Udomsak Bunworasate  
Department of Medicine, Faculty of Medicine, Chulalongkorn University, Bangkok  
• Dr. Chinadol Wanitpongpun  
Hematology Unit, Department of Internal Medicine, Srinagarind Hospital, Khon Kaen University, Khon Kaen

### ニュージーランド

• Dr. Henry Ngu  
Department of Haematology, Auckland City Hospital, Auckland

### フランス

• Dr. Jaccard Arnaud  
Hematology Unit and Amyloidosis Center, University Hospital Limoges, Limoges

### ベトナム

• Dr. Do Huyen Nga  
Department of Hematologic Oncology, Vietnam National Cancer Hospital, Ha Noi  
• Dr. Nguyen Thanh Tung  
Department of Hematologic Oncology, Vietnam National Cancer Hospital, Ha Noi

### マレーシア

・ Dr. Gin-Gin Gan  
Department of Medicine, Faculty of Medicine, University Malaya, Kuala Lumpur

#### 中国

・ Dr. Weiping Liu  
Key Laboratory of Carcinogenesis and Translational Research (Ministry of Education),  
Department of Lymphoma, Peking University Cancer Hospital and Institute, Beijing

・ Dr. Yuqin Song  
Key Laboratory of Carcinogenesis and Translational Research (Ministry of Education),  
Department of Lymphoma, Peking University Cancer Hospital and Institute, Beijing

#### 韓国

・ Dr. Won Seog Kim  
Division of Hematology-Oncology, Department of Medicine, Samsung Medical Center,  
Sungkyunkwan University School of Medicine, Seoul

・ Dr. Sang Eun Yoon  
Division of Hematology-Oncology, Department of Medicine, Samsung Medical Center,  
Sungkyunkwan University School of Medicine, Seoul

・ Dr. Dok Hyun Yoon  
Department of Oncology, Asan Medical Center, University of Ulsan College of Medicine, Seoul

#### 台湾

・ Dr. Bor-Sheng Ko  
Department of Hematological Oncology, National Taiwan University Cancer  
Center, Taipei

#### 香港

・ Dr. Yok-Lam Kwong  
Department of Medicine, Queen Mary Hospital, Hong Kong

<問い合わせ・連絡先>

---

施設研究責任者：神奈川県立がんセンター 血液・腫瘍内科 部長 橋本 千寿子  
[ 241-8515 神奈川県横浜市旭区中尾 2-3-2 ]